

環境活動レポート



対象期間：令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日

発行日：令和 4年 5月16日



成和建設株式会社

目 次

1. 環境経営方針
2. 事業活動の概要
3. 環境目標とその実績
4. 主要な環境活動計画の内容
5. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
7. 地域貢献
8. 代表者による全体評価と見直しの結果
9. 情報公開
10. 事業紹介

環境経営方針

経営理念

「良い製品を より早く より安く より安全に
かつ環境への負荷を最小限に抑え生産する」

環境行動指針

1. 地球環境保護に配慮した事業活動を行うこととし、事業により発生する二酸化炭素・廃棄物・水使用量及び排水量の削減を推進します。特に建設副産物については、適正な処理に努め、再資源化の向上を目指します。
2. 環境関連法規を遵守し、社会規範、企業人としての倫理を常に念頭に置いて行動します。
3. 地域住民の要求に耳を傾け、地域社会貢献活動に積極的・継続的に参加します。
4. 社会や顧客の要請に的確かつ迅速に答えるとともに、環境負荷の低減に資する工法の採用、施主に対する環境に配慮した建築物・工作物等の提案を推進します。
5. 「人」は当社の財産であり、人材育成、職場環境の整備、安全対策の強化に努め、個性・創造性を最大限に発揮できる企業を目指します。
6. 建設資材、事務用品等のグリーン購入を推進します。
7. 社有地の法面に定期的に植林を行い、二酸化炭素の吸収と酸素の生成を促進します。
8. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境方針を全従業員及び協力会社に周知し、社外にも公開します。
9. 環境経営システムを構築し、さらに有効なものとするよう継続的改善に取り組みます。

平成23年 4月 1日 制定
令和 3年12月 1日 改定

成和建設株式会社
代表取締役 小田島佐智子

2. 事業活動の概要

(1) 名称、住所及び代表者の氏名、役員の名及び役員就任日

商号	成和建设株式会社
代表者名	代表取締役 小田島佐智子
所在地	<p>本社 〒025-0321 岩手県花巻市金矢第4地割52番地1 電話 0198-27-2636 FAX 0198-27-2646</p> <p>リサイクル場 〒025-0321 岩手県花巻市金矢第5地割26番地1 電話 0198-27-2671 FAX 0198-27-2672</p> <p>資材置場 岩手県花巻市湯本第5地割20番地2</p> <p>資材倉庫 岩手県花巻市金矢第4地割52番地1 他</p> <p>宇津野置場 岩手県花巻市金矢第5地割843番1</p> <p>旧本社 岩手県花巻市金矢第3地割17番地5</p>
役員の名及び役員就任日	<p>小田島 佐智子 (平成20年 3月22日就任)</p> <p>小田島 裕樹 (平成20年 3月22日就任)</p> <p>佐藤 公一 (平成21年 4月 1日就任)</p> <p>佐藤 加奈 (平成20年12月31日就任)</p> <p>佐藤 優太 (平成28年 6月 1日就任)</p> <p>小田島 由香利 (平成28年 6月 1日就任)</p>

(2) 会社の沿革

昭和44年 2月 1日	創業
昭和47年 2月21日	成和建设(有)設立 (資本金 500 万円)
昭和53年11月30日	資本金を 1,300 万円に増資
昭和63年 6月30日	資本金を 3,120 万円に増資
昭和63年 8月24日	有限会社から株式会社に組織変更
平成 8年 3月22日	産業廃棄物処分業許可
平成 9年10月21日	産業廃棄物収集運搬業許可
平成15年 4月30日	二級建築士事務所登録
平成20年12月22日	特定法人貸付事業 (農地) 協定

(3) 現在の事業内容

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般土木工事に関する事業 2. 土木機械の賃貸 3. 建築工事一式 4. 産業廃棄物の収集運搬、販売及び中間処理 5. 農業経営 | <ol style="list-style-type: none"> 6. 農産物の検査業務 7. 上下水道管工事及び同設計施工事業 8. 給排水、給湯、消火設備工事及び修理事業 9. 冷暖房、衛生、ポンプ、モートル機器販売修理事業 10. 前各号に附帯する一切の事業 |
|---|---|

(4) 環境管理責任者氏名及び連絡先

- 環境管理責任者 取締役 常務 小田島 裕樹
- 連絡先 電話 0198-27-2636
FAX 0198-27-2646
Eメール hiroki.o@seiwa-iwate.co.jp

(5) 認証登録範囲

全ての事業活動（土木工事、建築工事、解体工事、リサイクル事業、産業廃棄物収集運搬業・中間処理業、一般廃棄物収集運搬業・中間処理業、営農事業）、サイト、従業員を取組み範囲とします。

本社事業年度は1月～12月ですが、建設業、産廃業の事業年度が4月～翌年3月までの範囲であることから、本対象期間も上記業種に合わせ4月～翌年3月までの事業年度とします。

(6) 事業の概要

■ 総合建設業

(許可業種) 土木、建築、大工、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、
塗装、水道施設、管、解体工事業

■ 産業廃棄物収集運搬業

(収集運搬する廃棄物の種類及び運搬量等)

産業廃棄物の種類	運搬量 (t/月)	積替え又は保管を行う場合には 積替え保管場所の所在地	性状
燃え殻	1 t/月	積替え・保管なし	固形
汚泥（含水率20%以下）	1 t/月	積替え・保管なし	泥状
廃プラスチック類（塩素を含まないもの）	8 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
廃プラスチック類（塩素を含むもの）	7 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
紙くず	3 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
木くず	200 t/月	積替え・保管なし	固形
繊維くず	3 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
ゴムくず	1 t/月	積替え・保管なし	固形
金属くず	15 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボード）	35 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードを除く）	5 t/月	岩手県花巻市金矢5地割26番1	固形
がれき類（アスファルト・コンクリート廃材に限る）	800 t/月	積替え・保管なし	固形
がれき類	15 t/月	積替え・保管なし	固形
石綿含有産業廃棄物	3 t/月	積替え・保管なし	固形

■ 産業廃棄物処分業

(処分する産業廃棄物の種類及び処分量等)

産業廃棄物の種類	処分方法	処分量 (t/月)	性状
がれき類	中間処理(破砕)	1500 t/月	固形
木くず	中間処理(破砕)	300 t/月	固形

■ 業務を行う時間 8:00~17:00

■ 休業日 土曜日、日曜日及び会社指定日(年末・年始の休業日)

(7) 許可業種

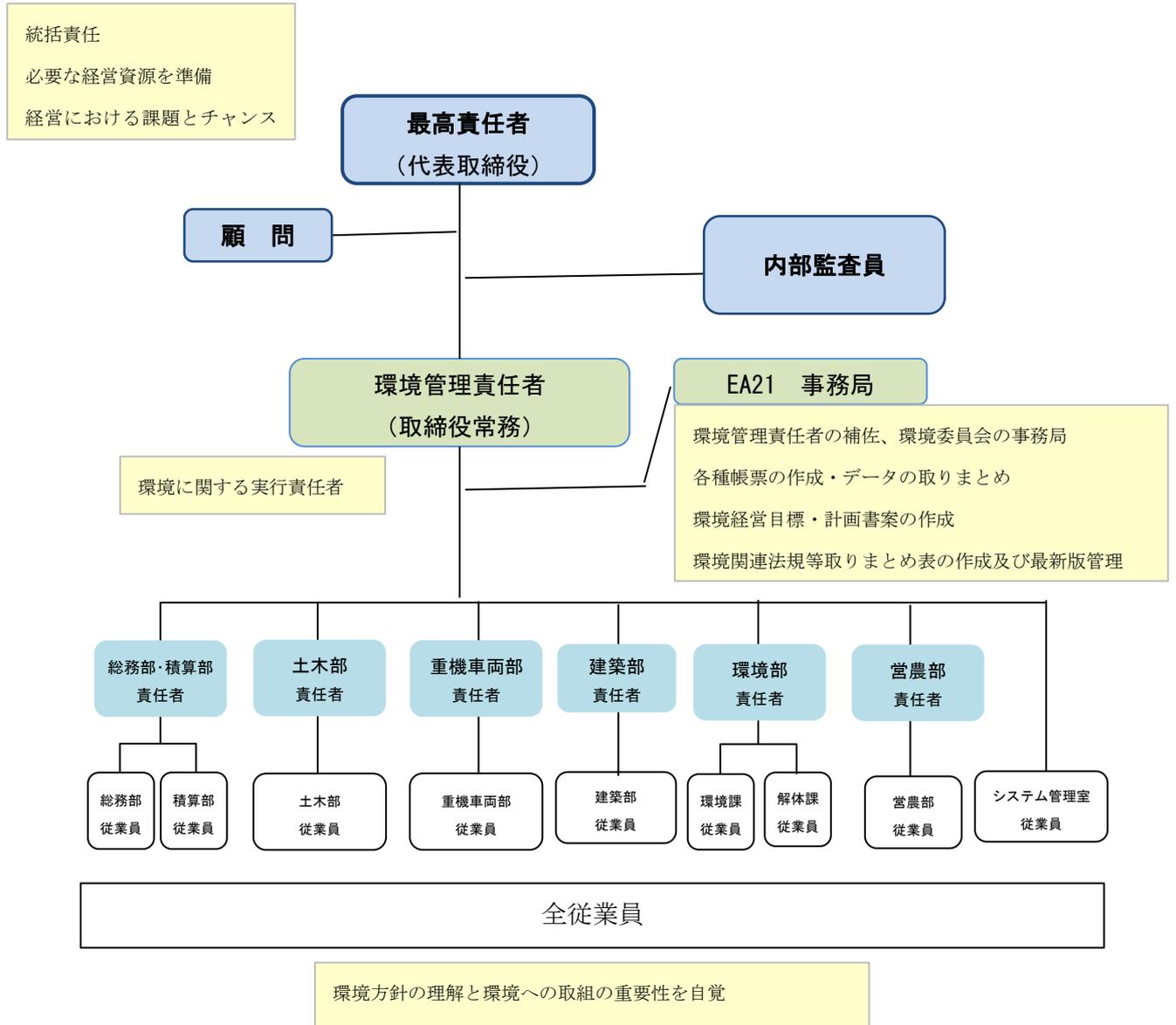
許可名	許可番号	許可年月日	有効年月日
建設業	岩手県知事 (般・特-29)第2515号	平成29年5月31日	令和4年5月30日
産業廃棄物収集運搬業(岩手県) (種類:燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)	00312038484	平成29年11月11日	令和4年11月10日
特別管理産業廃棄物収集運搬業(岩手県) (種類:廃石綿等)	00352038484	令和3年5月10日	令和8年5月9日
産業廃棄物処分業(岩手県) (種類:木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)	00322038484	令和3年3月22日	令和8年3月21日
一般廃棄物処理業許可(収集運搬)(花巻市) (種類:事業系ごみ、家庭系ごみ)	第342-3号	令和4年4月1日	令和6年3月31日
一般廃棄物処理業許可(処分)(花巻市) (種類:がれき類、木くず)	第342-1号	令和3年11月9日	令和5年11月8日

(8) 事業の規模

活動規模	単位	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
工事件数	件	116	96	119	124	133	196
処理量	t	20,311	23,270	20,774	20,601	16,994	19,972
売上高	百万円	2,400	2,041	3,392	4,367	2,880	3,514
従業員	人	119	121	130	133	132	126
床面積	m ²	915	915	915	915	915	915

エコアクション21の実施体制

全ての事業活動、サイト、従業員を取組み範囲とします。



役割と責任・権限

役割	担当者	責任・権限
最高責任者	代表取締役	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施体制を構築する。 2. 環境方針の決定 3. 環境管理者から報告を受け全体の見直し・指示を行う。 4. EA2I を運用し、維持するための経営資源を用意する。 5. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
環境管理責任者	取締役常務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 最高責任者に代わってシステムを構築し、運用する。 2. 最高責任者に結果を報告する。
EA2I 事務局	事務担当者 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者に代わってデータの収集を行う。 2. 各部署へ EA2I の達成目標を周知する。 3. 各部署の実施状況を把握し、環境管理責任者に報告する。 4. 必要な教育訓練を計画し実施する。
各部門責任者	総務部・積算部責任者 土木部責任者 建築部責任者 重機車両部責任者 環境部責任者 営農部責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資源の節減を実施する。 2. EA2I 目標達成を推進しチェックし、環境管理責任者に報告し、必要な是正処置・改善を行う。 3. 公害防止、緊急事態への予防を行う。
従業員	全員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資源の節減に努める。 2. EA2I 取組みに関する教育訓練を受ける。
部課長会議	代表者 環境管理責任者 各部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月1回以上開催し、EA2I の取組状況について審議する。

3. 環境目標とその実績

(1) これまでの排出量の実績

表1. 主な環境負荷等の実績

項目		単位	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度
1. 二酸化炭素排出量	電力 ※1	kg-CO2	99,305	126,749	108,640
	軽油・ガソリン等		1,641,300	1,784,220	1,319,806
	灯油、LPG等		149,167	153,696	127,281
2. 一般廃棄物排出量		kg	1,750	2,250	1,530
3. 産業廃棄物排出量		t	3,541	3,600	3,731
4. 総排水量	水道水	m3	991	1,037	1,406
5. グリーン購入率・ (土木部)	アスファルト	再生資源 利用料 / 建設資材 利用料 (%)	47.6	99.5	49.2
	土砂		98.0	99.5	84.7
	砕石		80.6	84.5	16.8
6. 環境負荷の低減に資する工法等の提案		件	9	17	15
7. 若年技術職員の継続的な育成		35歳未満 技術職員 / 全技術職員 (%)	14.3	12.3	14.5
8. グリーン販売	再生砕石	m3	8,276	8,276	8,160
	おか粉		576	263	53
	チップ		15,288	12,052	12,279
	バーク		2,280	1,039	1,299
9. 植林本数 (H23年からの累計)		本	5,800	5,800	6,000
10. 化学物質使用量		kg	85.68	25.68	24.00

※1 電力の排出係数は、2017(平成29)年度 東北電力 CO₂排出係数(0.523 kg-CO₂/kWh)を使用しました。

(2) 環境目標の設定：

表2. 削減目標

項目		単位	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)		令和5年度 (目標)		令和6年度 (目標)	
1. 二酸化炭素排出量	電力 ※2	kg-CO2	93,237	92,304	-1%	91,372	-2%	90,440	-3%
	軽油・ガソリン等		1,319,806	1,306,608	-1%	1,293,410	-2%	1,280,212	-3%
	灯油、LPG等		127,281	126,008	-1%	124,735	-2%	123,463	-3%
2. 一般廃棄物排出量		kg	1,530	1,515	-1%	1,499	-2%	1,484	-3%
3. 産業廃棄物再資源化率		%	94.5	95.0	0.5%	95.5	1%	96.0	1.5%
4. 総排水量	水道水	m3	1,406	1,392	-1%	1,378	-2%	1,364	-3%
5. グリーン購入率 (土木部)	アスファルト	再生資源 利用料 / 建設資材 利用料 (%)	49.2	50.1	+0.9 ポイント	51.1	+1.9 ポイント	52	+2.8 ポイント
	土砂		84.7	85.7	+1.0 ポイント	86.7	+2.0 ポイント	87.1	+2.4 ポイント
	砕石		16.8	17.8	+1.0 ポイント	18.8	+2.0 ポイント	19.8	+3.0 ポイント
6. 環境負荷の低減に資する工法等の提案		件	15	16	+1%	17	+2%	18	+3%
7. 若年技術職員の継続的な育成		35歳未満 技術職員 / 全技術職員 (%)	14.5	15.0	+0.5 ポイント	15.0	+0.5 ポイント	15.0	+0.5 ポイント
8. 植林本数 (H23年からの累計)		本	6,000	6,200	+200 本	6,400	+400 本	6,600	+600 本
9. 地域貢献活動実施件数		件	6	7	+1	8	+2	9	+3

※2 電力の排出係数は、2021（令和3）年度 東北電力 CO₂排出係数（0.457 kg-CO₂/kWh）を使用しました。

(3) 当該年度の環境負荷の実績と評価

表3. 当該年度の環境負荷等の実績及び環境目標

項目	単位	目標基準値 (平成30年度 実績値)	削減率 又は 増加率	令和3年度 (令和3年4月～令和4年3月)		評価	
				目標値	実績値		
1. 二酸化炭素排出量	電力 ※3	kg-CO2	106,702	-3%	103,500	108,640	△
	軽油・ガソリン等		1,727,789	-3%	1,675,955	1,319,806	○
	灯油、LPG等		185,091	-3%	179,538	127,281	○
2. 一般廃棄物排出量		kg	3,525	-3%	3,419	1,530	○
3. 産業廃棄物排出量		t	4,476	-3%	4,341	3,731	○
4. 総排水量	水道水	m3	1,086	-3%	1,053	1,406	×
5. グリーン購入率 (土木部)	アスファルト	再生資源 利用料 / 建設資材 利用料 (%)	94.1	+2.8 ポイント	96.9	49.2	×
	土砂		97.6	+2.4 ポイント	100.0	84.7	×
	砕石		48.3	+1.4 ポイント	49.7	16.8	×
6. 環境負荷の低減に資する工法等の提案		件	8	+3%	9	15	○
7. 若年技術職員の継続的な育成		35歳未満 技術職員 / 全技術職員 (%)	11.7	+3.3 ポイント	15.0	14.5	△
8. グリーン販売	再生砕石	m3	8,715	+3%	8,977	8,160	×
	おが粉		100	+3%	103	53	×
	チップ		12,412	+3%	12,785	12,279	△
	パーク		2,223	+3%	2,290	1,299	×
9. 植林本数 (H23年からの累計)		本	4,800	+30%	6,240	6,000	△
10. 化学物質使用量		kg	令和元年度 85.68	-10%	77	24	○

評価基準：目標達成=○、目標超過5%以内=△、目標超過5%以上=×

※3 電力の排出係数は、2017(平成29)年度 東北電力 CO2排出係数(0.523 kg-CO2/kWh)を使用しました。

4. 主要な環境活動計画の内容

取組計画		取組内容	
		短期	長期
1. 二酸化炭素 排出量削減	電力	<ul style="list-style-type: none"> ① 省エネ目標説明 ② 冷暖房の控えめな使用（冷房 28℃、暖房 25℃） ③ よしずの設置 ④ 電気の使用を最小限に抑える。 ⑤ 作業時間外（昼休み等）の照明 OFF の徹底 ⑥ ノー残業デーの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① LED照明等、照明機器の省エネルギー化 ② エネルギー効率の高い機器（コピー機等）の導入
	軽油、ガソリン等	<ul style="list-style-type: none"> ① 自動車燃費向上目標の説明 ② エコドライブ運動の展開 ③ アイドリングストップ ④ 作業時間外のエンジン停止の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ① ハイブリッド車等の低公害車への切替 ② 環境配慮型機械の導入
	灯油、LPG 等	<ul style="list-style-type: none"> ① 暖房の設定温度（暖房 25℃）を守る。 ② ファンヒーターストーブの定期清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ① エネルギー効率の高い暖房機器の導入
2. 一般廃棄物の削減 3. 産業廃棄物の再資源化率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ① 一般廃棄物削減計画説明 裏紙使用、両面コピーの徹底、帳票見直しによる印刷物の削減、シュレッダーを機密文書等に限定、封筒の再利用、ゴミの分別の徹底 ② 産業廃棄物の削減 受託産業廃棄物のリサイクル 建設副産物のリサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ① リサイクルしやすい素材を使用した製品の購入 ② 再資源化施設の情報収集
4. 節水	水道水	<ul style="list-style-type: none"> ① 水道水削減目標説明 ② 節水呼び掛け ③ 洗車用水、散水の適正利用及び適正な排水処理 	<ul style="list-style-type: none"> ① 雨水の貯留タンクや雨水利用施設等の設置
5. グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ① 建設資材、事務用品等のグリーン購入について状況の把握 ② 建設資材の再生材の利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入について具体的な目標値の設定及び取り組み
6. 環境負荷の低減に資する工法等の施主への提案		<ul style="list-style-type: none"> ① 環境負荷の低減に資する工法等についての情報収集 ② 環境に配慮した建築物・工作物等の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境負荷の低減に資する工法等の施主への提案について具体的な目標値の設定
7. 若年技術職員の継続的な育成		<ul style="list-style-type: none"> ① 若年職員の資格取得、技能講習受講の促進 ② 有給休暇の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ① 向上意欲のある人材の採用
8. 植林本数		<ul style="list-style-type: none"> ① 毎年継続的な植林活動 	<ul style="list-style-type: none"> ① 植林した樹木の生育管理
9. 地域貢献の実施		<ul style="list-style-type: none"> ① 所属団体等のボランティア活動に積極的に参加する ② 地元生徒のインターンシップを積極的に受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域貢献活動の新規開拓 ② 地域の要望の聴取・実現

5. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容

令和3年度の環境活動の取組について評価しました。その結果は次の表の通りです。

環境活動計画	取組結果とその評価	次年度の取組内容
《電力の削減》 ・省エネ目標説明。 ・冷暖房の控えめな使用（冷房 28℃、暖房 25℃）。 ・よしずの設置。 ・電気の使用を最小限に抑える。 ・作業時間外（昼休み等）の照明OFFの徹底。 ・ノー残業デーの推進。	・全体的には達成できたが、工事現場の多くなる秋から冬にかけて使用量が増えた。 ・冷暖房は控えめにしているものの例外的な猛暑日においては、熱中症の関係から、臨機応変な対応とした。 ・全体的な取組は、働き方改革推進により残業時間が減ってきた。	・無理のない範囲で冷暖房の控えめ運転。 ・パソコン等のこまめな電源OFF。 ・作業時間外（昼休み等）の照明OFFの徹底 ・業務量増に伴う目標値の見直し方法を検討する。
《軽油・ガソリンの削減》 ・自動車燃費向上目標の説明。 ・エコドライブ運動の展開。 ・アイドリングストップ。 ・急加速の抑制。 ・作業時間外のエンジン停止の徹底。	・エコドライブ・アイドリングストップは定着してきており、概ね良好である。 ・ハイブリッド車等の低公害車への切替を継続している。	・エコドライブ、アイドリングストップの徹底。 ・作業時間外のエンジン停止。 ・業務量増に伴う目標値の見直し方法を検討する。
《灯油・LPガスの削減》 ・暖房の設定温度（暖房 25℃）を守る。 ・ファンヒーターストーブの定期清掃。	・取組は定着してきており、継続して灯油・LPガスの使用量を削減できた。	・暖房の控えめな運転。 ・ファンヒーターストーブの定期清掃 ・業務量増に伴う目標値の見直し方法を検討する。
《廃棄物の削減》 ・裏紙使用、両面コピーの徹底、帳票見直しによる刷物の削減、シュレッターを機密文書等に限定、封筒の再利用、ゴミの分別の徹底。 ・受託産業廃棄物のリサイクル。 ・建設副産物のリサイクル。	・一般廃棄物は、コピー機の入替え、裏紙利用を継続しており削減できた。 ・産業廃棄物量は、分別の徹底により削減できている。	・裏紙使用、両面コピーの徹底により、コピー用紙の削減に努める。 ・産業廃棄物については、再資源化率の向上を目指す。 ・業務量増に伴う目標値の見直し方法を検討する。
《排水量の削減》 ・節水呼び掛け。 ・洗車用水、散水の適正利用及び適正な排水処理。	・節水を全体で心掛けているが、新型コロナウイルス対策で使用量が増えた。 ・営農の受託面積が増えたため、育苗等で使用量が増えた。	・節水の呼びかけ。注意喚起。
《グリーン購入》 ・建設資材、事務用品等のグリーン購入についての状況把握。	・沿岸の復興工事が完了した為に大幅に計画を下回った。	・引き続き再生材の活用行っていく。
《環境負荷の低減に資する工法等の施主への提案》 ・環境負荷の低減に資する工法等についての情報収集。 ・環境に配慮した建築物・工作物等の提案。	・公共工事においては、使用資材が指定されているため、提案することが難しいが、民間工事において再生砕石を活用した工事を受注することができた。	・引き続き再生材を活用した民間工事の受注を伸ばしていく。
《若年技術職員の継続的な育成》 ・若年職員の資格取得、技能講習受講の促進。 ・有給休暇の促進。	・資格取得・各種講習等により、若年職員の人材育成を実行できている。	・若年技術職員の資格取得・技能講習等の受講を促進する。
《グリーン販売》 ・再生材の販売促進。 ・再生原料の受け入れ増加。	・環境部において再生材を販売することで、グリーン販売を継続することができた。	・引き続き再生材の販売量の増加を目指す。
《植林活動》 ・毎年継続的な植林活動。	・計画通りに植林を行っている。	・継続して植林を行う。
《化学物質の削減》 ・化学物質を含まない製品への切替。	・塗装用シンナーの使用量を削減できた。	・化学物質を含まない製品への切替を検討する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟等はありませんでした。

7. 地域貢献

■地域との融合

地域からの苦情に対応するため、取締役常務を窓口にする。

■地域貢献（ボランティア活動）の歴史

平成15年から「豊沢川クリーン作戦」に自主的参加。ボランティア精神の輪は広がり、当社の参加人数も毎年増えています。

平成19年からは、成和建設の従業員100人体制で何かできないものかと考え、花巻の花火大会の翌日、打ち上げ場所である北上川河川敷の中州の清掃を始めました。小さな事ではありますが、継続して行くことに重点を置いて活動しております。

●豊沢川クリーン作戦への参加



— 活動状況 —



川の中から毎年のように
発見される自転車。



●花火大会翌日の北上川中州清掃



— 活動状況 —



100人体制で何かできる1つの事を探し、花火大会の翌日清掃を見つけました。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の活動に取り組んで今年で11年目になりますが、受注動向や業界の環境変化により、外的要因が出てきています。始めたころに比べ取り組みが定着してきているものの、項目によっては目標の未達成が見られるので、意識の高揚や推進方法の見直しも含め、対応を検討していかなければならない状況にあります。また、復興事業も完遂年を過ぎ、公共工事の受注も厳しい現況となりつつあります。

このようなことから、環境変化に強い体質づくりが求められると考えます。会社の安定した基盤づくりのためにも持続できる取り組みを構築していく方針であり、以下に環境経営全体の評価と見直しを示します。

(環境経営方針)

- ・「環境経営の継続的改善を誓約する」ことについて、環境行動指針に明文化すること。

(環境経営目標及び環境経営計画)

- ・二酸化炭素排出量について

全体としては目標を達成できましたが、電力においてはわずかながら未達成となりました。冷暖房の使用増加と考えられ、社員の健康上やむを得ないと考えます。

- ・廃棄物排出量について

産業廃棄物については、排出量を削減し、目標を達成できました。東日本大震災の復興が進み仮設住宅の解体工事が減少したことに加え、分別の徹底等の取り組みが、排出量削減の要因であると評価します。

- ・排水量について

目標を達成できなかった要因として、営農部門において水稲作付面積の増加により、育苗等への使用量が増大したことが挙げられます。

- ・若年技術職員の継続的な育成

わずかながら目標値は下回りましたが、当社の財産である「人」の育成に力を注ぎ、特に、若年層の資格の取得を推進しました。今後も資格の取得や技能講習の受講促進により、各分野で活躍できる人材を育てます。

- ・植林について

現行の状態でもまだ植林と敷地内緑化計画があり、進捗率は予定通りであることから、環境活動を評価するものです。

(実施体制)

- ・現在の実施体制が有効に機能しており、変更はありません。

これからも実効性のある環境への取り組みを継続し、経営との融合性を目指して循環型社会の構築のために改善努力を進めていきたいと思っております。

9. 情報公開

■産業廃棄物関係講習会受講状況

講習会の名称	修了者数	実施者	修了日	修了証番号
廃棄物処理施設技術管理者講習	4名	(財)日本環境衛生センター	平成14年2月1日	003038
			平成14年4月26日	004223
			平成14年9月6日	004753
			平成21年9月10日	029104
産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(更新)収集運搬課程	1名	(財)日本産業廃棄物処理振興センター	平成27年12月10日	515095002
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	2名	(財)日本産業廃棄物処理振興センター	令和3年12月3日	921130529
産業廃棄物処理実務者研修会 -基礎コース-	1名	(財)日本産業廃棄物処理振興センター	平成19年12月7日	実0712067

■環境保全技術に関する資格取得者数

資格名	資格者数
産業廃棄物処理施設技術管理者	4名
特別管理産業廃棄物管理責任者	1名
第1種衛生管理者	3名
エコスタッフ	2名
危険物取扱者	(乙種3類) 1名 (乙種4類) 7名 (乙種5類) 1名 (丙種) 10名

■ 事業の用に供する施設（車両も含む）の種類及び数量

名 称	種 類	能 力	所有数量
ブルドーザ	D6RLGP	21t	1台
ブルドーザ	D6HLGP	19t	2台
ブルドーザ	D5BLGP	14t	1台
ブルドーザ	D3CLGP	9t	2台
ブルドーザ	BD2G SSS-DD 他	4t	3台
ブルドーザ	BD2G SS-DD	4t	1台
ブルドーザ	BD2G S-DD 他	3.5t	4台
トラクター	MZ755Q 他	75PS～32PS	6台
ショベル系掘削機	SK350DLC	1.2m ³	(解体専用) 1台
ショベル系掘削機	PC230LC	0.9m ³	(解体専用) 1台
ショベル系掘削機	PC228UU	0.7m ³	(後方小旋回) 1台
ショベル系掘削機	SK200 他	0.7m ³	5台
ショベル系掘削機	SK135SRD	0.45m ³	(解体専用) 5台
ショベル系掘削機	SK130SR	0.45m ³	(後方小旋回) 2台
ショベル系掘削機	SK120 他	0.45m ³	4台
ショベル系掘削機	SK70SRD	0.3m ³	(解体専用) 2台
ショベル系掘削機	SK75UR	0.3m ³	(後方小旋回) 2台
ショベル系掘削機	SK60	0.3m ³	3台
ショベル系掘削機	SK50UR 他	0.3m ³ 以下	8台
ホイールドーザー	FL200 他	13 t	3台
ホイールドーザー	WA200 他	11 t	3台
ホイールドーザー	IT14F	8t	1台
ホイールドーザー	WA30-6	3t	1台
ホイールローダ	LK40Z-3 他	3t	2台
トレーラー	けん引車	30t	1台
トレーラー	セルフ	15t	1台
ダンプ	ショート	10 t	4台
ダンプ	塵芥車	15 t	1台
ダンプ	塵芥車	4 t	3台
散水車		4t	1台
コンテナ専用車		4t	5台
プレスパッカー車	塵芥車	4t	1台
ダンプ・トラック類		4 t 以下	(軽トラ含む) 24台
セルフ (ユニック車)		10t	1台
セルフ (ユニック車)		4t	3台

名称	種類	能力	所有数量
さく岩機			5台
ブレーカー			4台
モーターグレーダー	GD705-4A	4.0m	1台
モーターグレーダー	GD505A	3.7m	1台
コンバインドローラー	KVR40C 他	4t	2台
タイヤローラー	TS200	12t	1台
ハンドローラー	HV201 他	1t~0.5t	3台
振動コンパクター	PC200A 他		15台
ランマー	PV6DFW 他		10台
自走式クラッシャー	HR420G-5	80t/h	1台
大割破碎機	SV-36X 他	1.2m ³ ~0.4m ³ 用	6台
小割圧碎機	OSC83V 他	0.7m ³ 用	3台
アスファルトフィニッシャー	HV24C	1.3~2.4m	1台
ラジコンモア(草刈機)	AMX-7	1.8m	1台
ロータリー除雪車(乗用)	HK140SVR 他		2台
ハンドロータリー除雪機	SS387ADH	38P	2台
コンプレッサー	PDS90S 他		3台
溶接機	PDW280SBL 他		8台
発電機	NES90SH 他		18台
キャリアダンプ	MST1500 他		4台
フォークリフト	FD25-12 他	2t	3台
タブグラインダー	TG400A	36~90m ³ /h	1台
鉄骨カッター	TS500RCL 他		2台
木材切断カッター	OTKC-50	0.45m ³ 用	1台
サイレントグラップル	OSG-50R	0.45m ³ 用	5台
サイレントグラップル	OSG-25R	0.3m ³ 用	4台
油圧ブレーカ	TOP200	0.7m ³ 用	1台
油圧ブレーカ	TOP100A	0.45m ³ 用	1台
油圧ブレーカ	TOP30	0.1m ³ 用	1台
産廃カッター		0.7m ³ 用	1台
フォーク(機械式)		0.7m ³ ~0.4m ³ 用	3台
乗用車			33台

様式第一号の2（第九条の二第二項第一号、同条第三項、第十条の十二第二項関係）

令和4年6月1日現在

運搬施設の概要				
(1) 運搬車両一覧				
施設名	型式、車両寸法 (cm)	自動車登録番号	規模、能力（積載量）	保有台数
いすゞ4tダンプ	U-NRR32C1D 536×218×238	岩手11ち 9316	最大積載量 3950kg	1台
いすゞ4tダンプ	KC-NRR33C2D 540×217×238	岩手100さ 8801	最大積載量 3950kg	1台
いすゞ2tダンプ	KC-NKR66ED 469×169×199	岩手400さ 1926	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ2tダンプ	KK-NKR66ED 469×169×196	岩手400す 1334	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ2tダンプ	KC-NKR66ED 469×169×199	岩手400さ 1652	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ2tキャブオーハ (トラック)	KC-NPR66LR 608×201×222	岩手100さ 694	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ2tキャブオーハ (トラック)	U-NKR61E 465×169×199	岩手46せ 6752	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ4tダンプ (塵芥車)	U-FRR32DBD 584×220×235	岩手100さ 7739	最大積載量 3500kg	1台
いすゞ10tキャブオーハ (トラック)	KC-CYZ81S2 1088×249×345	岩手11ら 6452	最大積載量 9800kg	1台
いすゞ4tキャブオーハ (トラック)	U-FRR32K1 803×226×317	岩手11ち 6403	最大積載量 2250kg	1台
日産ディーゼル 4tキャブオーハ (トラック)	U-CM87HE 796×225×295	岩手11た 9481	最大積載量 2500kg	1台
いすゞ4tダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	KK-FRR35E4S 592×220×246	岩手100す 6852	最大積載量 4100kg	1台
いすゞ2tダンプ	KK-NKR66ED 469×169×199	岩手400す 1385	最大積載量 2000kg	1台
いすゞ4tダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	KK-FRR35G4 609×220×246	岩手100せ 282	最大積載量 3950kg	1台
いすゞ4tダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	SKG-FRR90S1 590×220×247	岩手100せ 1512	最大積載量 3850kg	1台(☆)
いすゞ10tダンプ	QKG-CXZ77AT 765×249×323	岩手100は 4965	最大積載量 9000kg	1台(☆)
いすゞ4tキャブオーハ (トラック)	KC-FRR33K4 799×249×246	岩手100せ 3581	最大積載量 2800kg	1台
三菱10tダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	PJ-FV50JY 922×249×316	岩手100は 6583	最大積載量 11100kg	1台
日野2tダンプ	TKG-XZC675T 469×169×198	岩手400て 8023	最大積載量 1850kg	1台(☆)
いすゞ4tダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	TKG-FRR90S2 593×220×250	岩手100せ 7584	最大積載量 3900kg	1台(☆)
いすゞ4tダンプ	TKG-FRR90S1 546×220×251	岩手100せ 7585	最大積載量 3700kg	1台(☆)
日野10tダンプ	QKG-FS1EKDA 766×249×330	岩手100は 6710	最大積載量 8300kg	1台(☆)
日野10tダンプ	QKG-FS1EKDA 776×249×344	岩手100は 6723	最大積載量 8800kg	1台(☆)

いすゞ 4 t 塵芥車 (パッカー車)	PB-FRR35D3S 645×220×268	岩手 8 0 0 せ 2 1 4	最大積載量 1 9 0 0 kg	1 台
日野 12 t ダンプ	QPG-FS1BWEA 1140×249×361	岩手 1 0 0 は 6 8 8 1	最大積載量 1 1 1 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	2RG-FRR90S2 617×219×247	岩手 1 0 0 せ 9 4 8 7	最大積載量 3 6 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	2KG-FK61F 616×220×242	岩手 1 0 0 せ 9 5 0 1	最大積載量 3 6 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	2KG-FK71F 587×221×242	岩手 1 0 0 せ 9 5 8 4	最大積載量 3 5 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t キャブ・オーハ (トラック)	2PG-FRR90S1 817×226×304	岩手 1 0 0 せ 9 6 0 0	最大積載量 2 9 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ (脱着装置付コンテナ 専用車)	2KG-FK71F 616×220×242	岩手 1 0 0 せ 9 6 4 5	最大積載量 3 5 0 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ	SKG-FRR90S1 543×221×249	岩手 1 0 0 せ 9 7 1 8	最大積載量 3 6 5 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t ダンプ	SKG-FRR90S1 543×221×249	岩手 1 0 0 そ 8 2 1	最大積載量 3 6 5 0 kg	1 台 (☆)
いすゞ 4 t キャブ・オーハ (トラック)	TKG-FRR90S1 819×225×297	岩手 1 0 0 そ 8 2 2	最大積載量 2 9 5 0 kg	1 台 (☆)
			※ (☆) は低燃費車	計 3 3 台
(2) その他の運搬施設概要 鉄製カゴ (230個)、脱着装置付コンテナ専用車用コンテナ (15台) ビニール袋 (厚さ0.05mm・横90cm・縦100cm) ドラム缶 (10本)				

(日本工業規格 A列4番)

〈産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況〉

令和4年6月1日現在

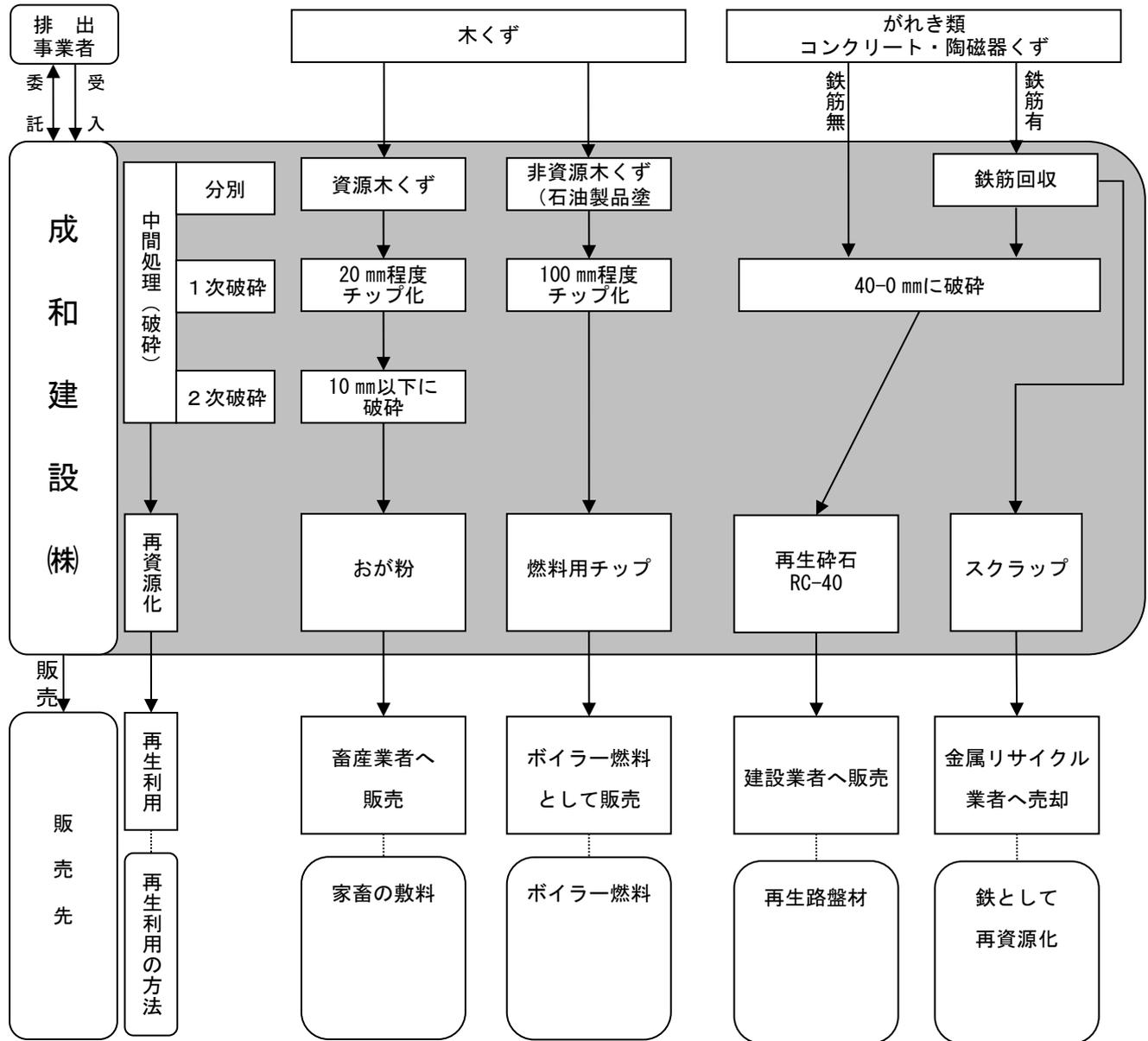
運搬車の燃費低減レベル	台数（割合）	参考台数（割合）
	R4.6.1 時点	H27.4.1 時点
全保有台数	33 (100.0%)	28 (100%)
① 平成 27 年度燃費基準達成車	14 (42.0%)	2 (7.1%)
② 平成 27 年度燃費基準 5% 向上達成車	1 (3.0%)	0 (0.0%)
③ 平成 27 年度燃費基準 10% 向上達成車	1 (3.0%)	0 (0.0%)
【低燃費車の導入目標】 令和 5 年 3 月末までに、平成 27 年度燃費基準達成車の割合を全体の 45% 以上とする。		

〈産業廃棄物収集運搬業の用に供する運搬車に係る低排出ガス車の導入状況〉

令和4年6月1日現在

運搬車の燃費低減レベル	台数（割合）	参考台数（割合）
	R4.6.1 時点	H27.4.1 時点
全保有台数	33 (100.0%)	28 (100%)
① 使用車種規制（NO _x ・PM）適合車	21 (64.0%)	5 (17.8%)
【低排出ガス車の導入目標】 令和 5 年 3 月末までに、達成車の割合を全体の 70% 以上とする。		

■ 事業場の処理工程図 ■



■ 処理施設の概要 ■

〈中間処理施設①〉

施設の種類	破碎施設
品目	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
設置年月日	平成14年5月23日
設置場所	岩手県花巻市金矢第5地割26番1
処理能力	640t/日
稼働時間	8時間/日
処理方式	破碎（ジョークラッシャー方式）
構造・設備の概要	日立建機製 HR420G-5
環境保全対策	防音シート等による騒音の低減 投入口のカバーシート、散水による粉じんの飛散防止

〈中間処理施設②〉

施設の種類	破碎施設
品目	木くず
設置年月日	平成17年4月15日
設置場所	岩手県花巻市金矢第5地割14番地1、91番地1、92番地
処理能力	129.6t/日
稼働時間	8時間/日
処理方式	破碎（ハンマーミル方式）
構造・設備の概要	バーミヤ製 タブグラインダー TG400A
環境保全対策	防音シート等による騒音の低減 投入口のカバーシート、散水による粉じんの飛散防止

〈中間処理のための保管施設1〉

品目	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
所在地	岩手県花巻市金矢第5地割26番地1
保管面積	1,710㎡
保管体積	4,533㎥
保管高さ	4.5m
環境保全対策	囲い、カバー、散水による粉じんの飛散防止 排水溝・沈殿池の設置による水質汚濁の防止

〈中間処理のための保管施設2〉

品目	木くず
所在地	岩手県花巻市金矢第5地割14番地1、91番地1、92番地
保管面積	①1,703.58㎡ ②339.23㎡ ③419.54㎡
保管体積	①3,672.4㎥ ②455.8㎥ ③477.0㎥
保管重量	①1,468.9t ②182.3t ③190.8t
保管高さ	①3.0m ②3.0m ③2.3m
環境保全対策	囲い、カバー、散水による粉じんの飛散防止 排水溝・沈殿池の設置による水質汚濁の防止

〈積替え・保管施設の概要〉

【保管施設の概要】

所在地：岩手県花巻市金矢第5地割14番1、91番1、92番、26番1、16番、261番3、261番4、27番1

産業廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (㎡)	保管体積 (㎡)	保管重量 (t)	備考
廃プラスチック類	—	52.0	62.4	12.5	屋外保管 シート被覆
紙くず	—	6.9	8.2	2.1	屋内保管 (保管容器：カゴ)
繊維くず	—	7.8	9.4	1.5	屋内保管 (保管容器：カゴ)
金属くず	—	14.3	17.2	4.6	屋外保管 シート被覆
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードを除く)	—	7.8	7.8	6.1	屋内保管 (保管容器：ドラム缶)
廃石膏ボード	—	7.8	9.4	5.1	屋内保管 雨天時一時保管場所
廃石膏ボード	—	12.3	18.4	10.1	屋内保管

【選別施設の概要】

所在地：岩手県花巻市金矢第5地割14番1、91番1、92番、26番1、16番、261番3、261番4、27番1

床面積：38.9㎡、屋内設置

受託した産業廃棄物の処理量

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量（t）※	
(i) 収集運搬	ガラス陶磁器くず		204.10	
	コンクリートくず			
	がれき類		2,632.62	
	木くず		304.23	
	廃プラスチック類		196.89	
	鉄くず		21.16	
	廃石膏ボード		328.34	
	紙くず		6.02	
	繊維くず			
	石綿含有産業廃棄物		64.12	
	燃え殻			
	水銀使用製品産業廃棄物		0.91	
収集運搬量合計			3,758.39	
(ii) 中間処理	木くず	破碎	3,050.68	
	がれき類	破碎	12,897.22	
	ガラス陶磁器くず	破碎		
	うち 再資源化等	木くず	破碎	3,050.68
		がれき類	破碎	
ガラス陶磁器くず		破碎	4,023.83	
再資源化等量小計			19,971.73	
中間処理合計			19,971.73	
(iii) 最終処分				
最終処分量合計			0.00	
(iv) 中間 処理後の 産業廃棄物	最終処分			
	再資源化等	木くず	チップとして売却	3,050.68
		がれき類	路盤材として売却	12,825.04
		ガラス陶磁器くず	路盤材として売却	4,023.83
		金属くず	スクラップとして売却	72.18
再資源化等量小計			19,971.73	
中間処理後処分量合計			19,971.73	

※「処理量（t）」には、自社発生分も含まれております。

10. 事業紹介

土木部

長年積重ねてきた実績を自信に、機動力を武器に最高のモチベーションで、防潮堤工事、造成工事、道路工事、護岸工事、ほ場整備事業、民間工事に臨みます。
人と人とのつながり、人間力の大切さを忘れずに後世に残すモノ造りに真摯に向き合います。

施工状況例

—施工実例—



着工前



綾織地区構造物工事（釜石道）



山田漁港海岸災害復旧工事(下閉伊郡山田町)



二級市道沼の浜青の滝線沼の浜地区道路災害復旧工事
(宮古市田老)



復興基盤総合整備事業下野地区工事
(上閉伊郡大槌町)



倉沢地区防雪柵設置工事
(花巻市東和町)



無人草刈機械使用状況



防雪柵の設置上げ下ろし



除雪



草刈作業

建築部

建物は、人の生活の一番身近な環境です。そして、ずっと長く付き合うものです。お客様のニーズにあった住まいと、地球環境に優しい建物を専門技術員が、ご提案させていただきます。

新築工事、増改築、解体工事、リフォーム、水周り工事、細かな修理まで、ご相談下さい。

かゆいところに手が届く、そんなサービスを心掛けております。

—施工事例—



災害公営住宅新築工事（岩手県下閉伊郡山田町）



花巻ターミナル旅客増築工事（岩手県花巻市）



花北振興センター新築工事（岩手県花巻市）



旧釜石商業高等学校解体工事（岩手県釜石市）



着工前



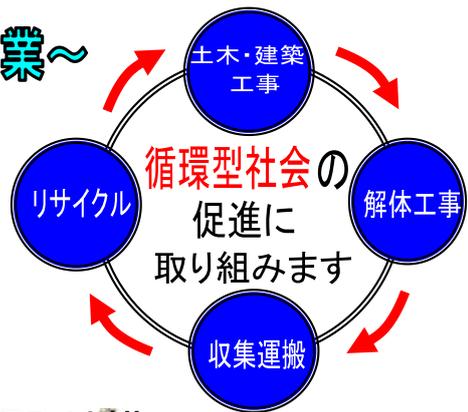
大槌第5仮設団地（上閉伊郡大槌町）

安全かつ安心作業で、周囲の皆様に騒音や地球環境に配慮し、用途に応じた重機械で対応致します。実績でお客様とご近所の皆様に**信頼**を頂いております。
困ったこと、悩んでいることございましたら、お電話下さい。専門技術員がご相談を承ります。

環境部 ～地球温暖化防止事業～

—循環型社会の促進—

循環型社会を構築していくためには、排出された廃棄物のリサイクル、適正処分だけではなく、廃棄物を出さない生活へ転換しなければなりません。



がれき類のリサイクル



破碎機



再生砕石 RC-40



踏盤材として再生利用

木くずのリサイクル

—自給自足—

自然と共存！ゼロ廃棄循環型生活！
それが私たちの理想。
現実化への挑戦です。

環境課の活動…

～ゴミを資源に、資源を未来に～事業



伐採材



チップ（建築廃材）



チップ（建築廃材）



おが粉

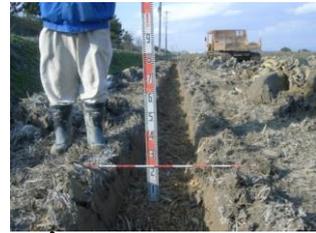


営農課の活動…

CO2削減事業



バイオ燃料



圃んぼの暗渠排水



稲作の栽培



小麦の栽培



家畜飼料・水分調整



堆肥

この他にも…



チップ舗装



ガーデニング



マルチング材

など、様々な用途に再利用されています。

営農活動

荒地整備から水田耕起！
 育苗から収穫！
 すべての農作業を自社管理だから安心。

荒地整備

ハウス育苗

肥料散布 → **水田耕起** → **代かき**

稲作

麦作

自社ライスセンターで製品化

出荷

新たな試み古代米